



平市の助役問題が甚だしい。市の形勢は、市の性質が少くとも市に於ける事務機構の根幹をなす極めて重大なる限りの今後の推移に就て或種の懸念なき能はざるものがある。由來之の老たるや所謂青沼人事の全貌を刺す處無く將來に示唆するものとして其の向背如何は親愛なる老市長の衰頹に關する處蓋し鮮からぬものがある。その理想的解決は市事務の圓滑なる運営と市制實施の功勞者たる老市長の晩年に一段の光輝をらしむる意味に於て吾人の夙から祈念惜かなかつた處であるが、市の將來を慮る熱意から老市長が全幅の懸念を總動員して細心の注意を以て向はるに市會の共鳴を得られなかつた事は推察するに市長の苦衷を忍び難きものがある。勿論吾人市民大衆として其の間一寸憂鬱ならざらんも欲するも能はざるものがある。抑々之の事たる人物を根本とする問題である以上其の人物の適否に關しては左右の議論も生じざるを得ず、其れ以外に於ては何等糾糾の起るべき筈か無いては、あるが事實は決して此の通りである。市會と市長との連絡は適宜に適合せざる場合、その硬化は最初から可なり、そのプロパガンダが存在し、た處から本職に事關の圓滑解決を望む婆心から或種のゴシップに寓意して這野の緩和を試みたに拘らず、愚案案より微力にして竟に何等の反響を齎さず、今日の結末を見るに至つたのは時節柄全く残念千萬なりであるが、幸にして當面の問題は人物の適否に非ずして其れ以外に存する限り、此際市長市會相互の大義名分が立つ時に於て事を解決し、導く事が左迄至難でない事柄が看取され得るは合理的に情にお互納得出来る合理的の方法によつて既往の行き掛り一切を拂拭して熱心無き明鏡に快明なる市政を反映して欲しいと思ふ。此際狂瀾を既倒に廻すの良策は無いか。

老父の激勵の言葉に 三人兄弟勇んで出發 好間村渡邊一家の譽れ

燃ゆる赤誠！ 千社札で一ぱいた 昨今の非常時局風景

軍人の家 兄弟三人がしよに皇軍の第一線に勇躍 出發した珍らしい「非常時風景」

地元の軍優勝 龍球大會 支那事變 告講演會

一萬圓突破か 軍事後援會寄附金 着々纏まる

御祝儀が少い 非常時局が反映 呉服屋や割烹店へ

軍人農家の慰安 けふ郡下小組合幹部會 受ける困難と認むる家族

永平丸沈没す 船員無事、損害千圓 町月見町方面の有志として

磐炭捷つ 對日立野球戦 磐炭對日立の野球戦を十二日午後二時から金坂球場で

八ちゃん流さる 一晝夜掛りで捜査 けさヤツと死体発見

多田井氏當選 右根 本市議の死亡により市制第二十條に基き直に選挙會を開き八十四票に次點となつた多田井次郎氏の當選

見送り歸 渡邊村田 萩十郎さん八男小學校二年生高木君(九)は十日午後四時半ごろ高木村長を歡送しての歸途、泉村沖地内において同級生の隊伍より

舊盆關係の赤字から 再た増加に正常復歸 今月初旬石炭發送高

根本品藏氏 昨十二日急逝 本市會議員根本品藏氏は去る十日の市會にも出席、爾來歸頭の敬送等平日と異なる

火見櫓倒る 市内 田町の火見櫓は十一日の夜、暴風で道路筋に倒壊、幸ひ深夜のこととて通行人もなかつたので死傷なかつた

水難救済 水難救済 設立協議 會小名濱 郡平沼町小川賢太郎さん方

根本品藏氏 昨十二日急逝 本市會議員根本品藏氏は去る十日の市會にも出席、爾來歸頭の敬送等平日と異なる

八ちゃん流さる 一晝夜掛りで捜査 けさヤツと死体発見

多田井氏當選 右根 本市議の死亡により市制第二十條に基き直に選挙會を開き八十四票に次點となつた多田井次郎氏の當選

見送り歸 渡邊村田 萩十郎さん八男小學校二年生高木君(九)は十日午後四時半ごろ高木村長を歡送しての歸途、泉村沖地内において同級生の隊伍より

謹啓 父根本品藏儀急病ノ爲メ九月十二日午後二時十八分死去致候ニ付來ル十四日午後三時自宅出棺普提院ニ於テ佛式ヲ以テ葬儀相營ミ可申候間右御知ラセ申上候 昭和二十九年九月十三日 嗣子 根本 本 根 本 忠 青 沼 録 太 井 上 茂 關 内 正 茂 鈴木 光 一 菅 本 庄 治 吉 弘

眼鏡 最新式 各種眼鏡 森下商店

久長運武祈 八幡神社祭禮 特賣十四十五兩日 日本刀、陣刀、皮太鼓

森合齒科醫院 吹き込んで即座に聴ける 私の肉聲 完成